

オホーツク管内 湧別町立芭露学園

1 学習活動の概要

「ウポポイ」の職員による講話や、博物館見学、伝統芸能の鑑賞、伝統料理の試食などの体験活動を通して、アイヌの人たちの歴史・文化等について理解を深めるとともに、これまでに学習してきたオホーツク文化と関連付けることで、自分が生まれ育った地域への関心を高め、郷土を愛する心を育む教育活動を行いました。

2 取組の様子

(1) 事前の学習

アイヌの人たちの歴史・文化等とオホーツク文化の違いや関連を調べるため、アイヌの人たちの歴史・文化等については、書籍やインターネットを活用し、住居や衣服、食文化について調べ、掲示物にまとめました。オホーツク文化については、地域の博物館の見学、学芸員による講話、シブノツナイ遺跡群の見学、擦文土器の制作などを行い、双方の文化の理解を深めました。



【伝統料理の試食体験】

(2) 体験活動

アイヌの人たちの歴史・文化等について、伝統料理の試食体験では、チマカム（シカ肉の串焼き）、イモシト（芋団子）、オハウ（汁物）などを試食し、「いただきます」「ごちそうさま」の号令をアイヌ語で行いました。歴史等の体験では、展示室を見学し、アイヌの人たちが使っていた道具を見たり、映像を視聴したりしました。また、「アイヌ古式舞踊」を中心とした歌や踊りなどの伝統芸能を鑑賞することで、アイヌの人たちの歴史・文化等について、理解を深めました。



【展示室の見学】

(3) 事後の活動

学んだことをまとめ、廊下に展示し、他学年の生徒や学校を訪れる保護者や地域の方々に見ていただきました。また、アイヌの人たちの歴史・文化等とオホーツク文化との違いや関連について、これまでの学習を振り返りながら関連付けることで、より一層学びを深めました。



【伝統芸能の鑑賞】

3 生徒の感想等

- ・体験活動を通して、アイヌの人たちの歌や踊りの不思議な音色や動きに感動しました。もっとアイヌの人たちの歴史・文化等について知りたいと思いました。
- ・調べる活動を通して、アイヌの人たちの歴史・文化等とオホーツク文化との共通点や差異点に気づき、以前よりも、自分が生まれたオホーツクに興味がわきました。